

にこにご通信

◆保育コンシェルジュ通信 令和元年 1号◆

今年度も高砂市の園の情報や子育てに関する情報を取材し、にこにご通信でお届けしていきたいと思います。令和元年 1 号は、新しく園舎を立て替えして、ますますパワーアップしたさいしゅうじこども園と伊保こども園をご紹介します。

★ さいしゅうじこども園 ★

歴史あるさいしゅうじこども園では、昨年から建て替え工事がはじまり、新園舎とホールが完成しました。



玄関ホールにはパソコンが置いてあり、入退園がスムーズに出来るように配慮されています。また、ソーラーパネルの設置や床暖房の導入など、エコ対策も考慮した設計になっています。1階には多目的トイレもあり、子育て支援事業に参加されている親子や、地域の方も利用できます。階段にはさいしゅうじこども園のシンボルマークのオブジェがあり、こどもたちを見守っていました。

1階の3歳未満児さんのお部屋では、発達に合わせたあそびのコーナーがあり、お部屋の外にはウッドデッキがあるので好奇心旺盛な赤ちゃんたちも満足できますね。



すてきな吹き抜けの階段を上ると、3歳以上児さんのお部屋があります。この日は、みんなが椅子に座ってお話をしていました。「はい！」と手を上げて発表する姿や、お友達の話をしっかりと聞いている姿はとても立派でした。さすが年長さんです。





2階には、みんなで利用できるトイレと絵本スペースがあり、異年齢の交流もできます。また、こどもたちに人気の屋上は、とても見晴らしがよく、園舎のすぐそばに新幹線が走っていて、電車がだい好きなこどもたちが「新幹線くるよ!」「ドクターイエローがくる!」とはりきって教えてくれるそうです。夏にはプールができるようにシャワーが備え付けてあります。これからの季節がたのしみです。屋上の床にはゴムチップが敷かれており、クッション性があってこどもたちの身体を守ってくれます。このように、こどもたちが安全に過ごせる工夫が随所にみられました。

園のスローガン「めばえ。ぐんぐん。みんなで」のもと、新園舎でのこどもたちの成長が楽しみです。



★ 伊保こども園 ★

4月にこども園としてオープンした「伊保こども園」に見学に行ってきました。カラフルなタイルで彩られた玄関がお出迎えしてくれました。中に入ると、木のぬくもりを感じる玄関ホールが広がります。壁面にはこどもたちの描いた絵が飾られ、真新しい園舎をたのしく飾っていました。保育室や廊下には木がふんだんに使用されています。太陽の光りがたっぷり差し込み、とっても明るく気持ち良い空間が広がっていました。



伊保こども園では、未就園児さんが利用する子育て支援ルームがあり、ガラス張りの折り戸のお部屋はとても開放的でした。今後このお部屋は子育て支援事業（えがお）に使用され、梅井・伊保地区の子育て支援の拠点となり、親子の集いや園庭開放、子育て相談などを行っていきます。また、この辺り一面は海拔が1メートルしかないため、屋上が一時避難所となり、地域の住民が避難できるように園庭からの外階段がありました。





また、きゅうしょく室は、大きな回転釜が見える窓があり食育に配慮した設計になっています。美味しい匂いに誘われてきゅうしょく室をのぞいている子どもたちの姿が目につかぶようです。

ひかりが差し込む階段を上って2階にあがると年長さん、年中さんが自由遊びをしていました。「こんにちは！」「なにしに来たん？！」と話しかけてくれました。子どもたちは12月から新しい園舎で過ごしています。すこしインタビューしてみます。

「あたらしいお部屋はどうですか？」 「きれい！」「ひろ～い」「芝生行ってみて！」 さっそく子どもたちのお気に入りの屋上の芝生広場に行ってみました。開放的な広場に心地よい風が吹き、思わずわたしたちも「気持ちいいね～」と顔を見合わせました。新しい園舎でこれからどんなことをしようかな、と保育士さん。新園舎に負けないくらい子どもたちの笑顔もピカピカでした。

